

板紙・段ボール

(昭和35年12月7日第三種郵便物認可)

毎月7日、17日、27日発行

第二六二〇号

(二〇一六年)

28年4月7日

クラウン・パッケージ

埼玉事業所、16年度に稼働

貼合と製函
埼玉・飯能市 関東3大拠点体制に

(株)クラウン・パッケージ(佐光恵蔵社長、愛知県小牧市)は、埼玉事業所(埼玉県飯能市茜台3-12)を開設する。既に同市の工業団地内に約1万坪の土地を取得済みで、昨年10月に建設を開始。2016年度中の稼働を予定している。コルゲータと各種加工機を設備し、環境適応素材マイクロフルート及びギフト用美粧パッケージの企画・製造・販売を行う。同工場の初年度売上は25億円を目標としている。

初年度売上25億円が目標



埼玉事業所の敷地面積は3万4506・81平米で、延床面積は1階が1万6788・37平米、2階が1万56・27平米(計2万6844・64平米)。既存工場で課題であった複雑な動線の問題を解決するために同事業所では、最も効果的になるように機械設備をレイアウト。これによって、物流

16年度中に稼働する埼玉事業所のイメージイラスト。構内は効率の良い動線を追求し、誰もが働きやすい事務所を旨指して建設中だ

川県伊勢原市)のほぼ中間に位置する。狭山日高と人間の両インターに近く、交通の便が良い。完成後は市場の集中が進む関東圏全域を3事業所で網羅する生産供給体制が整う。

の最適化を図り構内の横持ちエネルギーを削減するとともに、ボイラーを都市ガス仕様にしてCO2削減にも貢献する。更に従業員がより快適に働ける職場作りや福利厚生も実現していく。障害者にとっても働きやすい優しい事務所とした。

圏央道を利用すると東京事業所(千葉県野田市)及び神奈川事業所(神奈川県伊勢原市)とのほぼ中間に位置する。狭山日高と人間の両インターに近く、交通の便が良い。完成後は市場の集中が進む関東圏全域を3事業所で網羅する生産供給体制が整う。

また、これまで多くの得意先が集中する関東の北から北西方面における営業活動が少々手薄だったことから、完成後は従来以上にきめ細やかな訪問や打ち合わせ、提案が可能となる。

同社では「生産拠点が近くなることによって、なお一層の速やかな納入体制が構築でき、得意先にも喜んでいただける」と期待している」とする。